



2026年4月28日

各位

会社名 蝶理株式会社  
代表者名 代表取締役社長 迫田 竜之  
(コード: 8014、東証プライム)  
問合せ先 経営管理部長 松浦 一芳  
(TEL. 03-5781-6201)

### 2026年3月期の剰余金の配当（増配）及び2027年3月期からの配当方針の変更に関するお知らせ

当社は、本日（2026年4月28日）開催の取締役会において、2026年3月31日を基準日とする剰余金配当の実施及び2027年3月期からの配当方針の変更を下記の通り決議しましたので、お知らせいたします。

#### 1. 剰余金の配当

##### (1) 配当の内容

	決定額	直近の配当予想 (2025年4月28日公表)	前期実績 (2025年3月期)
基準日	2026年3月31日	同左	2025年3月31日
1株当たり 配当金	75円00銭	72円00銭	81円00銭
配当金の総額	1,858百万円	—	2,007百万円
効力発生日	2026年6月3日	—	2025年6月5日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

##### (2) 理由

当社は、株主への利益還元を重要な経営課題の一つと位置付けており、継続的・安定的な利益還元と経営・財務の安定性確保の観点から、親会社株主に帰属する当期純利益の水準に応じた業績連動型配当を実施し、中間配当と期末配当の年2回の剰余金の配当を行うことを基本方針としております。配当額につきましては、事業発展のための投資資金の確保に留意しつつ、経営環境等を総合的に勘案し、親会社株主に帰属する当期純利益に対する連結配当性向30%（年間）かつ株主資本配当率（DOE）3.5%以上を満たす額としております。

この方針の下、2026年3月期通期連結業績を踏まえ検討した結果、当期の期末配当金につきましては、従来予想の1株当たり72円から3円増配し、1株当たり75円とすることとしました。これにより、中間配当金1株当たり72円と合わせ、年間配当金は1株当たり147円（前期実績比5円の増配）となります。

##### (参考) 年間配当の内訳

基準日	1株当たり配当金			連結配当性向	株主資本配当率 (DOE)
	第2四半期末	期末	年間		
当期実績(2026年3月期)	72円00銭	75円00銭	147円00銭	30.2%	4.1%
前期実績(2025年3月期)	61円00銭	81円00銭	142円00銭	30.0%	4.4%

## 2. 2027年3月期からの配当方針の変更

### (1) 配当方針変更の理由

中期経営計画「Chori Innovation Plan 2028」策定にあたり、持続的な成長に資する事業投資を着実に実行するとともに、株主還元のさらなる充実を図る観点から、資本効率及びキャッシュフローの在り方について検討を行いました。足元の事業環境及び自己資本の推移を含む財政状態等を総合的に勘案し、親会社株主に帰属する当期純利益に対する連結配当性向 40%以上（年間）かつ純資産配当率（DOE）3.5%以上へと配当方針を変更することといたしました。

### (2) 変更内容

	従来方針	新方針
連結配当性向	30%以上（年間）	40%以上（年間）
DOE	株主資本配当率（DOE）3.5%以上	純資産配当率（DOE）3.5%以上

### (3) 新配当方針

当社は、株主への利益還元を重要な経営課題の一つと位置付けており、継続的・安定的な利益還元と経営・財務の安定性確保の観点から、親会社株主に帰属する当期純利益の水準に応じた業績連動型配当を行うことを基本方針としております。

配当額は、親会社株主に帰属する当期純利益に対する連結配当性向 40%以上（年間）かつ純資産配当率（DOE）3.5%以上を満たす額としております。

### (4) 適用時期

2027年3月期に係る配当（中間配当含む）より適用します。

### （ご参考）配当予想

基準日	1株当たり配当金			連結配当性向
	第2四半期末	期末	年間	
2027年3月期（予想）	85円00銭	86円00銭	171円00銭	40.1%

以上